組合だより

2016. 1. 5 発行　第 180 号

札幌鉄工関連協同組合
・TEL 661-2648　・FAX 665-1408
http//kanren.sakura.ne.jp/
e-mail : kanren00@poem.ocn.ne.jp

～　年 頭 ご 挨 拶　～

札幌鉄工関連協同組合
理事長　今 井 一 彦

新年明けましておめでとうございます。

平成 28 年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

組合員の皆様には、平素から組合運営の各般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国では、ＴＰＰ協議大筋合意や 9 月には安倍総理が新・三本の矢を発表し、持続的な経済成長、経済の好循環を実現し、一億総活躍社会の実現を目指すこととしております。

急速に変化する国際社会への対応や持続的な経済成長の実現が求められる中、デフレからの早期脱却に向けて様々な政策が打ち出され、円安への誘導が図られ、輸出関連企業は空前の利益を享受して株高に沸き、新卒者の求人倍率等も大きく改善するなど、景況は好転しつつあったかに思われました。

しかしながら、消費税増税が国民の消費意欲に水を差し、また、私ども中小企業の経営は円安による材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇などからますます厳しさを増しております。

こうした中、本道においては、円安の追い風を受けてアジアを中心に海外から多くの観光客が訪れ、また、３月２６日には北海道新幹線の開業が決まり、本州と北海道が新たなレールで結ばれるなどといった明るい話題が久しぶりにもたらされました。

しかしながら、私ども中小企業にとって、本道における人口の減少と高齢化の進展はジワジワと経済活力の低下を招き、また、これまで材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇を製品価格に転嫁できずにいた私どもにとって、まさに死活問題であり、多大の影響を被ることとなりました。

こうした厳しい経営環境を乗り切るためには、今こそ組合員一人ひとりの力を結集し、その協同の力で様々な経営課題の解決に取り組んでいくことが極めて重要であります。

当組合といたしましても、組合員を取り巻くこうした厳しい経営環境を踏まえ、北海道経済産業局をはじめ北海道や札幌市、中央会との連携を一層密にし、経営革新や省エネ、設備投資や人材育成などへの支援情報の収集・提供とそのサポートに積極的に取り組んで参る所存でありますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

むすびに、この新しい年が皆様にとりまして更なる飛躍の一年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます

（東邦交通㈱　代表取締役）

～　2016 年 新年ご挨拶　～

安全衛生協力会会長
花 田 一 彦

新年あけましておめでとうございます。

平成 28 年新年を迎え、日頃より安全衛生活動推進にご尽力いただいております安全衛生協力会会員の皆様、組合員の皆様に敬意を表しますとともに、当安全衛生協力会の運営にご協力をいただいておりますことにつきまして、深く感謝申し上げる次第であります。

昨年を振り返ってみますと、景気の現状は緩やかな回復傾向が続いているといわれておりますが、中国などの海外経済の減速により一進一退を繰り返しており、平成 29 年 4 月からの消費税率 10%への引き上げを控え、先行きを懸念するところであります。

昨年も自然災害が各地で起こりました。9 月には台風 18 号の影響により北関東に局地的に大雨が降り、茨城県常総市では鬼怒川の堤防が決壊し大規模な水害が発生して、多くの住民が逃げ遅れてヘリコプターで救助されるなどしました。

100 年に一度の大雨が降ったといわれており、関東では過去 30 年間、堤防が決壊する大きな水害はなく住民の危機意識が薄れていることも、避難の遅れにつながったそうです。100 年に一度の大雨が降ったので次に大雨が降るのが 100 年後ぐらい先に思いますが、100 年に一度というのは「1 年に発生する確率が 1/100（1%）の大雨」を意味するそうで注意が必要です。

明るく、元気や希望をもらった話題といえば、ラグビーワールドカップで日本代表チームが一次リーグで 4 戦 3 勝の好成績を上げる快進撃を見せました。残念ながら決勝トーナメントへの進出は叶いませんでしたが、下馬評を覆した大金星に日本のみならず世界中より称賛の拍手が送られました。

また 11 月 11 日には、YS－11 以来 53 年ぶりとなる国産旅客機 MRJ が初飛行に成功しました。映像を見た時の感動は、初号機の航空会社への納入はまだ 2 年半以上先となる見込みですが、いつかあの飛行機に乗ってみたいという思いが生まれた瞬間ともなりました。

平成 27 年 12 月より労働安全衛生法の改正により、50 人以上の事業所におきまして従業員に対するストレスチェックが義務化されました。従業員のメンタル不調を未然に防止し、従業員自身にストレスへの気づきを促し、また従業員のストレスの原因となる職場環境の改善につなげることを目的にしています。

近年、仕事や職場に対して強い不安、悩み、またストレスを感じている従業員が増えている状況で、従業員の心理的負担の軽減や負担に対する対策などが、企業にとりまして取り組むべき重要な課題となってきております。

50 人未満の事業所につきましては努力義務となっていますが、50 人以上の事業所に準じた取扱いが必要ではないかと思うところであります。

また、平成 18 年より安全衛生協力会事業におきまして、年 6 回実施させていただいております「クリーンデー」は、昨年の活動を終えちょうど 10 年が経過いたしました。

組合員の皆様にご賛同いただき、今年度 202 社、2,197 名、10 年間の累計で延べ 2,205 社、21,734 名の方々に団地内の清掃活動などに携わっていただきました。

これまでご協力をいただいた大勢の方々の気持ちを大切にして、今後も皆様にご協力いただきながら「きれいな工業団地」を維持できる様、安全衛生協力会事業を通じてお手伝いできればと思っております。

最後になりましたが、今年一年安全衛生協力会会員の皆様、組合員の皆様のますますのご発展とご健勝、また職場の安全を祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

（㈱花田鉄工所　代表取締役）

あとがき

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

札幌鉄工関連協同組合　事務局

専務理事　　原田富雄
嘱託職員　　永田　廣
事務パート　藤森陽子（本日より勤務）